

邑南町第3次総合振興計画

地域とつながり、挑戦を育む町



邑南町

Contents 一本編

01 序論

総合振興計画策定にあたって	P.01
① 計画を策定するうえでの基本的な考え方	
② 計画の位置づけ・期間・構成	
邑南町の現状	P.03

02 基本構想

次の10年で目指す方向性	P.04
私たちの理念	P.05
目指す姿に近づくための取り組み	P.06
① 人口シミュレーションおよびKGIの設定	
② 10年後の町の姿	
③ 4つの柱	

03 基本計画

取り組み方針体系	P.10
戦略的重点プロジェクト	P.12
ひとを育てる	P.17
しごとを伸ばす	P.25
くらしを守る	P.35
つながりを深める	P.43

04 計画の実現に向けて

推進体制と検証方法	P.52
① 町と町民が協働で進める邑南町のまちづくり	
② 町の役割	
③ 地域運営組織の役割	
④ 町民の役割	
施策ごとのKGIへの寄与	P.56

総合振興計画策定にあたって①

計画を策定するうえでの基本的な考え方

① 新しい10年を描く計画

新型コロナウイルス感染症によるパンデミック、局地的な自然災害などの発生、AI等に代表されるようにテクノロジーの急速な進化など、予測困難な時代に突入しています。次の10年は、これまでとは一線を画す時期を迎えることを踏まえて、邑南町の「良いところ」や「強み」を生かした、「10年後にこうなっていたい」を描きました。10年後の将来像を達成するために必要となる取り組みを構想して策定しました。

② 町民と行政の協働による計画

本計画は、町が打ち立てた次の10年で目指したい場所に旗を立てたものであるとともに、行政と地域運営組織・町民が協働して進んでいくための羅針盤となります。無作為選出による「住民会議」、多様な関係者へのヒアリング、小・中学生のメッセージ集約、振興計画審議会等を通じて、町民の皆様が共感できる計画としました。また計画策定後も、折にふれて見ていただけるような紙面構成としました。

③ 効果検証可能な計画

10年を期間とする本計画には、4つの柱と27の取組方針を掲げています。新たに描いた10年の計画がどのように進捗し、町民の皆様の幸福度や満足度に寄与したかどうかを検証できるように、指標を開発しました。毎年度、WEBアンケート調査（おおなん活力インデックス=ODI）や「住民会議」に参加していただくことで、本計画が検証可能となり、本当の意味で計画として完成します。町民と行政の協働によるまちづくりを検証しながら進めることができる計画となっています。

ODI（おおなん活力インデックス）とは... 総合振興計画で掲げる施策等による効果を測定するための指標で、アンケート調査を通じて町民目線で評価する手法を取り入れました。

01

序論

総合振興計画策定にあたって②

計画の位置づけ・期間・構成

1 計画の位置づけ

邑南町第3次総合振興計画は、今後の施策運営の総合的・基本的な指針として、町の最上位の行政計画と位置付けるものです。また、本計画は、まち・ひと・しごと創生法第10条に基づく「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」にあたる「邑南町まち・ひと・しごと創生総合戦略2026」を包含した計画とします。邑南町の目指すべき将来の姿を明らかにするとともに、今後10年（令和8年度（2026年度）～令和17年度（2035年度））の目標や施策の基本的方向を示しています。

2 計画の期間

本計画の期間は、令和8年度（2026年度）～令和17年度（2035年度）までの10年間です。ただし、5年後の計画の中間年である令和12年度に必要な見直しを行うこととします。また、国の総合戦略等の策定や改定に合わせ、必要に応じて改定を行います。

3 計画の構成

本計画は、邑南町のまちづくりの基本理念や基本理念のもとに邑南町が目指す姿に近づくための取組みおよび施策体系や方針、施策の方向性を示した「基本構想・基本計画」と具体的な事業を示す「実施計画」により構成します。

○基本構想・基本計画【本編】

まちづくりの基本理念や基本理念のもとに邑南町が目指す姿に近づくための取組みや方針、施策の方向性を示すもの

○実施計画【別冊・資料編】

基本構想・基本計画を実現するための取組みを具体的に示すもの

01

序論

邑南町の現状

ひと 教育・文化・交流

- 子育て環境が地域に根づいている
- つながりや地域全体で子育てを見守る環境がある
- 自然や歴史文化が豊かである
- 子どもたちに明るさ、発想の豊かさがある

くらし インフラ・自然環境

- 石見養護学校、矢上高校など教育施設が立地している
- 広島都市圏へのアクセスの良さがある
- 豊かな自然と水やお米などの美味しい食材がある
- 豊かな文化芸能、地域行事が今も息づいている

しごと 産業・雇用・就業環境

- 豊かな自然、資源がある
- 農業に対する官民協力の姿勢がある
- 静かな生活環境がある
- 広島との近さから、観光・産業等での連携がある

つながり コミュニティ・防災・防犯

- ご近所同士の互助の文化が今も根付いている
- 医療福祉施設が充実している
- 人との強いつながりがある
- UIターンの受け入れ体制がある
- 世代を超えたつながり、アットホームな雰囲気がある
- 見守り、移動販売等の共助の仕組みがある

02 次の10年で目指す方向性

基本構想

邑南町の10年後の未来を考える「邑南町第3次総合振興計画」の策定にあたり、わたしたちは、より多くの声を取り入れるため、地域住民への意識調査や無作為選出による「住民会議」を実施しました。そこで浮かび上がってきたのは、「地域とのつながり」、そして「挑戦」というキーワードでした。

子育てや福祉、生活文化、産業の面でも「地域とのつながり」は、邑南町にとっての大きな強みです。また、大人たちが新たな取り組みやビジネスに挑戦する姿に触発され、子どもたちも「自分たちもやってみよう」と挑戦する姿勢を見せてくれます。

わたしたちは、安心して暮らしていける環境こそが、地域に更なる挑戦と活気をもたらしてくれると考えています。そこで、次の10年で目指す方向性や大切にしたい考え方を次のようにまとめました。

02 私たちの理念

基本構想

地域とつながり、挑戦を育む町

邑南町には、暮らしの中に温かな「つながり」が息づいています。地域での子どもの見守りや住民活動も活発で、高齢者を思いやり、支え合う互助の精神が今も受け継がれています。こうしたつながりは、ときに「しがらみ」とも捉えられ、若者が地域から離れる要因になることもあるなど、必ずしも肯定的な評価だけを受けてきたわけではありません。しかし、次の10年、わたしたちは改めて「地域とのつながりがあることの安心感」を大切にしたいと考えています。その上で、これまでの取り組みを次の世代へと引き継ぎ、新たな挑戦が生まれるための「安全な暮らし」の基盤を整えていきます。

暮らしという「土」を耕し、可能性という「種」を蒔く。

つながりという「根」に支えられ、一人ひとりの挑戦の「芽」を育てていく。

邑南町は、そんなまちづくりを進めていきます。

02

基本構想

目指す姿に近づくための取り組み 1

人口シミュレーションおよびKGIの設定

「つながり」と「挑戦」を大切にするまちづくりを進める上で人口減少は大きな課題です。また、人口の総数だけでなく世代間のバランスも重要な視点となります。

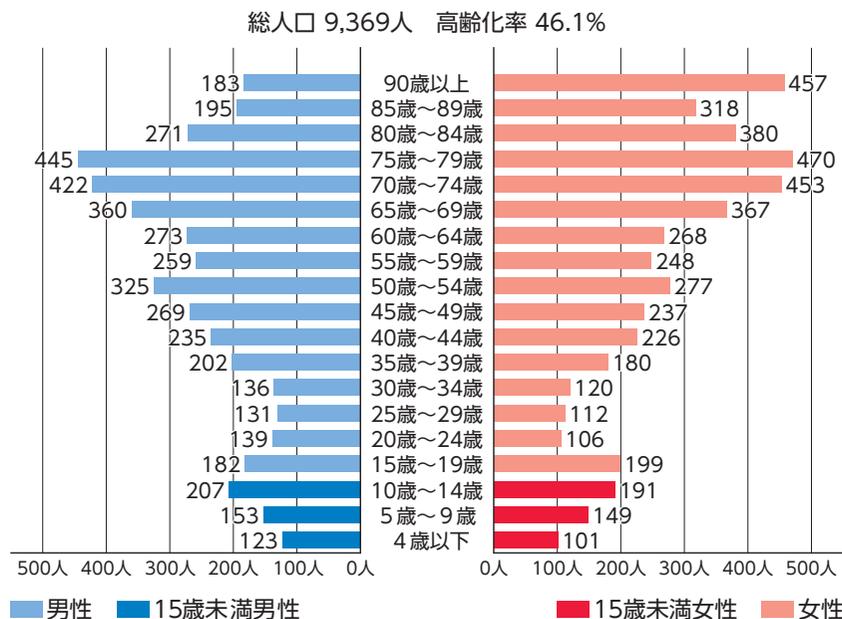
人口推計の比較 (現行推移と目標推移の比較)



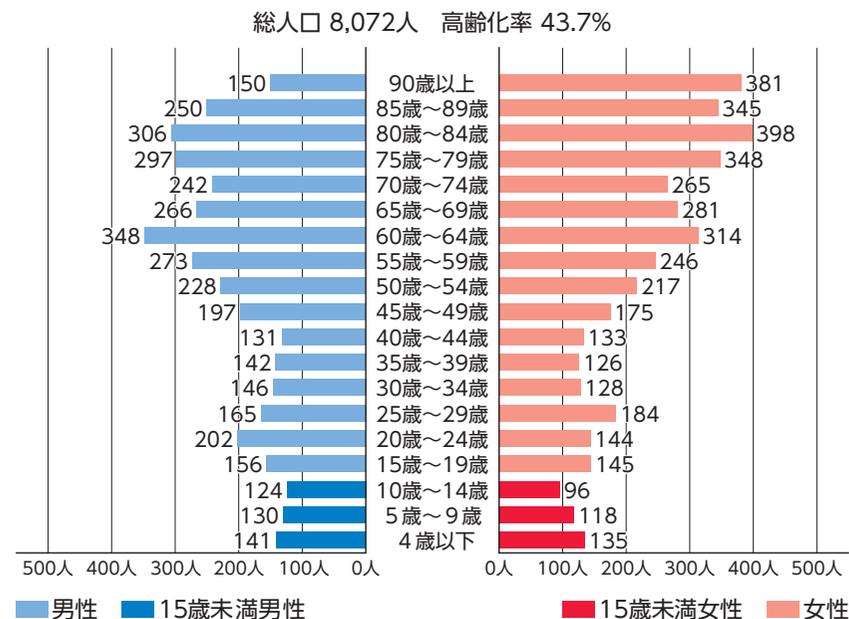
出典：島根県中山間地域研究センター「人口推計シートver3_250901」（住民基本台帳2020年4月末データおよび2025年4月末データに基づく）より作成

現行の推計に基づく、2035年には人口が8,000人を割り込み、7,500人台に到達すると予測されます。町として、「2035年に8,000人を維持」という目標を掲げ、あらゆる手立てを講じていきます。

2025年 人口ピラミッド (現状値)



2035年 人口ピラミッド (目標値)



出典：島根県中山間地域研究センター「人口推計シートver3_250901」（住民基本台帳令和2年4月末データおよび令和7年4月末データに基づく）より作成

現在の人口ピラミッドと「2035年に8,000人を維持」という目標を実現した場合の予測値の比較です。総人口とともに、15歳未満の人口にも着目し、10年後の最重要成果指標としてKGI（重要目標達成指数）を定めます。

KGI (重要目標達成指標)

総人口	15歳未満比率 (人口)	幸福度
8,000人	9.3% (744人)	100%

令和7年度に実施したアンケート調査の「現在、あなたはどの程度幸せですか?」という問いに対して、0点から10点までの点数で回答をいただきました。この問いに対する回答から、幸福度を「0～4」点＝「低位層」、「5～7」点＝「中位層」、「8～10」点＝「高位層」と定義し、中位層(46.5)＋高位層(43.6)の割合90.1%を算出。幸福度が低い状態の方の割合を低減し、幸福度が高い割合を増加させていくことを目標としました。

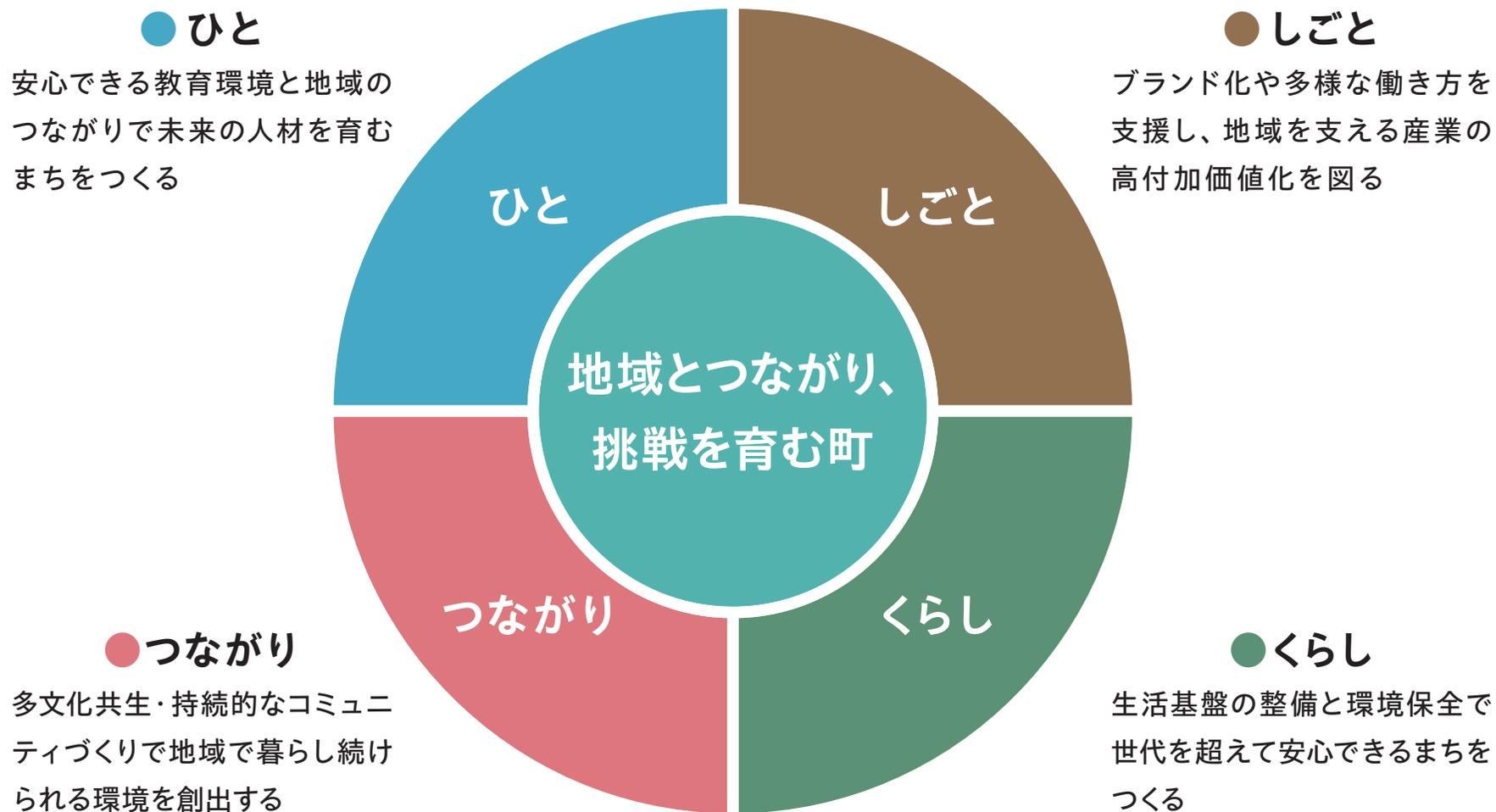
02

基本構想

目指す姿に近づくための取り組み②

10年後の町の姿

邑南町が10年後に目指す姿を4つの視点から考えました。



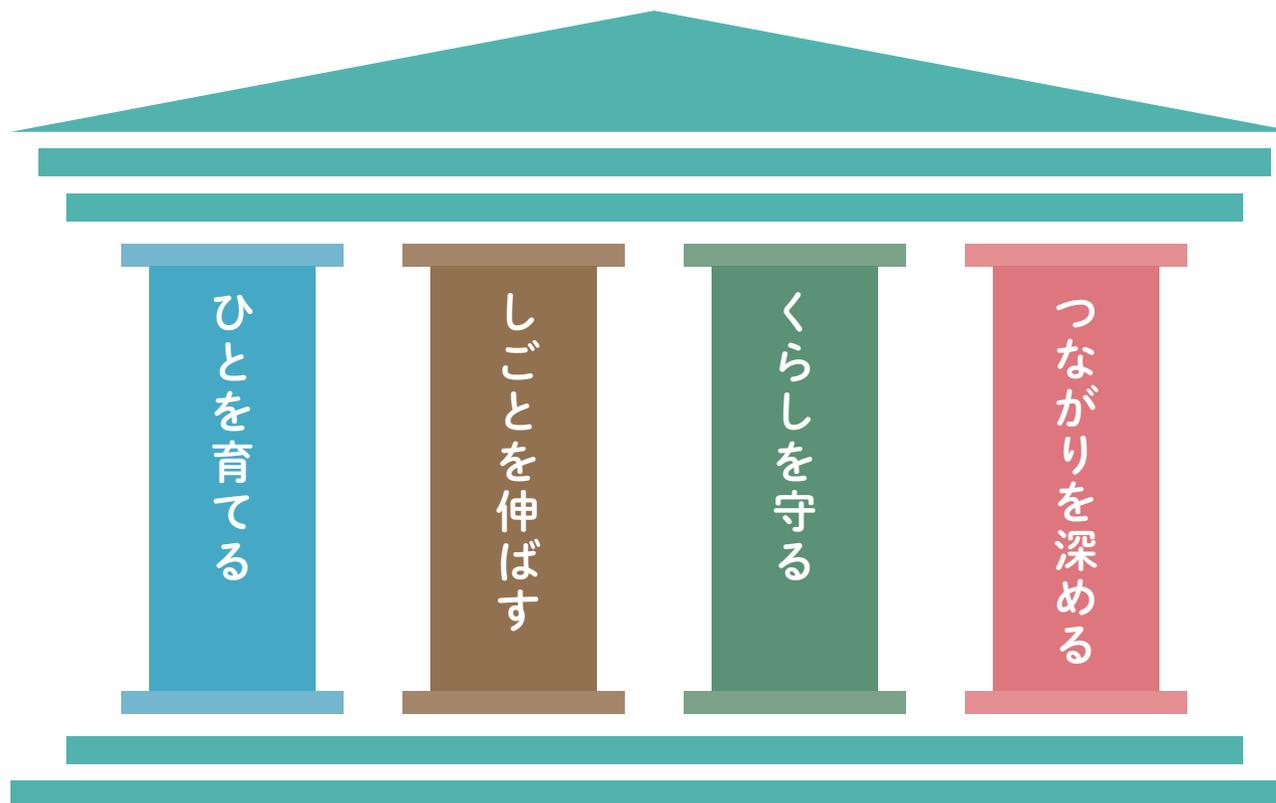
02

基本構想

目指す姿に近づくための取り組み③

4つの柱

理念である「地域とつながり、挑戦を育む町」を実現するために、4つの柱と27の取り組み方針を掲げ、これを推進します。



本計画は町と町民・事業者の皆さんとともに推進していくための指針として策定します。現在の幸福度・満足度を保ち、さらなる向上のために共に歩んでいきましょう。

03

基本計画

取り組み方針体系

理念

地域とつながり、挑戦を育む町

ひとを育てる

挑戦を育てる学びのコミュニティ

● 安心できる教育環境と地域のとつながりで
未来の人材を育むまちをつくる

- I. 地域社会で共に育てる「子育て環境」の向上
- II. 幼少期からの健康づくりで心も身体も大事にケア
- III. 学校・家庭・地域が一体となった「おおなん学」の推進*
- IV. 邑南町の教育にあった学校の在り方の研究・実現
- V. 地域での活躍を後押し—邑南町の未来を描く学び
- VI. 公民館エリアの地域資源を生かした教育の充実

しごとを伸ばす

「おおなんブランド」を基盤とした挑戦の促進

● ブランド化や多様な働き方を支援し
地域を支える産業の高付加価値化を図る

- I. テクノロジーを活用した持続可能な農林水産業の実現*
- II. 豊富な森林資源の有効活用と循環型林業の確立
- III. 起業・第二創業等の町内事業者の挑戦を支援
- IV. 道の駅や農産物直売所を起点に観光による経済波及
- V. 邑南町の新たなイメージ戦略とその活用
- VI. 邑南町の自然を守り・生かす—環境産業の推進
- VII. 多様な働き方ニーズを満たし、働くひとを応援
- VIII. 事業承継・組織連携・人材確保を通じた事業継続支援

くらしを守る

誰もが安心できる心地よいふるさと

● 生活基盤の整備と環境保全で
世代を超えて安心できるまちをつくる

- I. 道路網維持と施設の長寿命化でインフラを次代に継承
- II. 山と川、生物多様性を保全し、安定した水源を確保*
- III. 町民の生命と財産を守る一災害・獣害を防ぐ地域の備え
- IV. 誰もが利用しやすい超高速通信インフラの展開
- V. スマート化による効率的な地籍調査
- VI. 住まいづくりと空き家活用で移住・定住支援

理念

地域とつながり、挑戦を育む町

つながりを深める

多様なつながりが生み出す信頼が循環する町

● 多文化共生・持続的なコミュニティづくりで
地域で暮らし続けられる環境を創出する

- I. 多様な力を結集した地域コミュニティの育成*
- II. 地域での暮らしをあきらめない医療・福祉の推進
- III. 外国人も含めた多文化共生のまちづくりを推進
- IV. 使いやすい交通手段・移動支援の仕組みづくり
- V. 災害からしなやかに立ち上げられる防災体制づくり
- VI. 環境衛生の推進と循環型社会の実現
- VII. DXの推進による利便性の高いまちづくり

*=戦略的重点プロジェクト